

【地域が一体となった水路・農道等の保全管理】

おおたに

大谷保全会（四国中央市）

～地区概要～

大谷地区は、土居町の北西に位置する集落であり、主に田において米麦・里芋等を栽培している。しかし、高齢化の進行に伴う農家の減少により、農業者のみでは農地や水路等の農業用施設の保全管理が難しくなっている。そのため、地域住民と一体となった保全管理を推進している。

集落が管理している農地及び農業用施設は、田が896a、畑が196a。保全管理されている農業用施設は水路が約29.4km、農道が約10.9kmである。

～主な取組～

◎取り組みを始めたきっかけ。

集落内は高齢者が多く、耕作放棄地が増加している中で、将来に渡って集落の農地や農業用施設を守るためには、農家だけでなく地域住民との共同作業が必要であり、なんとかしたいという思いは全員が持っていたが、アクションを起こす機会がなかった。そのような時期に他地区における当事業の取組事例を知り、当事業を活用して集落を活性化できないかと考え、取り組むに至った。

◎どんなところを工夫しているか。

地域住民と共同で水路清掃を行っており、毎年多数参加していただいている。我々は小規模の保全会であり、農家の数も限られているが、自治会や地区外に住む地主さんとも連携しながらみんなで地域の大切な水路を守っている。また、農道の草刈りも地域住民が一体となって取り組んでおり、小規模ならではのメリットを生かして農業用施設の維持管理ができていると実感している。

◎今後取り組みたいこと、または今後の展望。

景観形成活動で実施しているれんげの植栽は、地域内外の多くの方に見ていただき好評を得ているので継続して行っていきたい。

また、共同活動の参加者もその多くが高齢者となるなど今後の不安材料もあるが、保全会を通じて更に地域住民とのコミュニケーションを図っていき、地域の活性化につなげていきたい。



水路の点検・機能診断



水路の更新



水路の泥上げ



景観形成活動